

# 第8回アジア湿地シンポジウム (AWS2017)

## 湿地と持続可能な暮らし “Wetlands for Sustainable Life”

日時: 2017年11月7-11日

### 第6回ウェットランド・リンク・インターナショナル(WLI)アジア会議

日時: 2017年11月6日

会場: ホテルグランデはがくれ  
(佐賀県佐賀市)



#### 基調講演 (11月7日)

##### ラムサール条約と持続可能な開発目標 (SDGs)

マルタ・ロハス・ウレーゴ/ラムサール条約事務局長

##### 日本における湿地と生物多様性の保全戦略

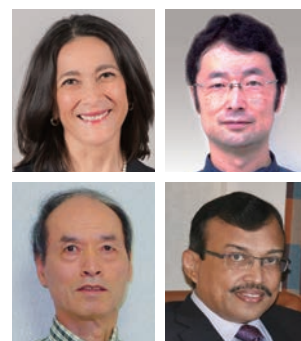
奥田直久/環境省自然環境局自然環境計画課長

##### AWS25周年と次の25年に向けて

磯崎博司/上智大学客員教授

##### チリカ湖の再生: モントルーレコードからラムサール湿地保全賞へ、そしてもっと先へ

アジット・K・バトナイク/ウェットランズ・インターナショナル南アジア副会長  
元インド国オリッサ州チリカ開発公社最高責任者



#### 有明海セッション (11月7日)

有明海の環境と賢明な利用、そして再生への取り組みについて考える

#### 市長円卓会議 (11月7日)

ラムサール条約登録湿地の干潟の保全と賢明な利用について、韓国と日本の市長による意見交換

出席: 韓国・順天市、佐賀市、鹿島市、荒尾市の市長

#### 全体プログラム

	午前	昼	午後	夕
11月6日 (月)	WLIアジア会議		AWS受付 WLIアジア会議	
11月7日 (火)	AWS受付 開会式 基調講演	サイドイベント	有明海セッション 市長円卓会議	歓迎レセプション
11月8日 (水)	セッション1、2 ポスターセッション	サイドイベント	セッション3、4、5、6、 ポスターセッション	セッション7 サイドイベント
11月9日 (木)	全日フィールドビジット (湿地視察)			
11月10日 (金)	セッション8、9		セッションのまとめ 佐賀ステートメント討議 閉会式	
11月11日 (土)	市民向け公開シンポジウム (東与賀文化ホール)			

## AWS2017の全体目標

過去四半世紀のアジアにおける湿地保全に関連する成果、実践例、進展及び課題を振り返り、次の四半世紀及びその先に向けて何をすべきかを検討し、ラムサール条約戦略計画2016年～2024年、生物多様性条約の愛知目標及び持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に資するため、湿地の保全と賢明な利用を主流化する。

## AWS2017の目的

- アジアにおける湿地の保全と賢明な利用に関する技術、伝統的な知識、技法、方法、優良事例、失敗の例を共有する
- ラムサール条約登録湿地と他の湿地の賢明な利用を実現するための戦略や活動をまとめる
- アジアの湿地管理者、湿地センター、ステークホルダーのネットワークを拡大する
- アジアにおける湿地保全に関する国際協力とパートナーシップを強化する
- ラムサール条約戦略計画2016-2024とCEPAプログラム2016-2024の実施にむけて、賢明な利用の優良事例の報告を通じ、ラムサール条約COP13へ貢献する
- 湿地の保全と賢明な利用における次世代の参加を強化する

## 開催組織

主催：環境省、日本国際湿地保全連合、ラムサールセンター、日本湿地学会

共催：佐賀県、熊本県、佐賀市、鹿島市、荒尾市

ラムサール条約東アジア地域センター、国際湖沼環境委員会、ウェットランド・リンク・インターナショナル (WLI) ・アジア

後援：外務省

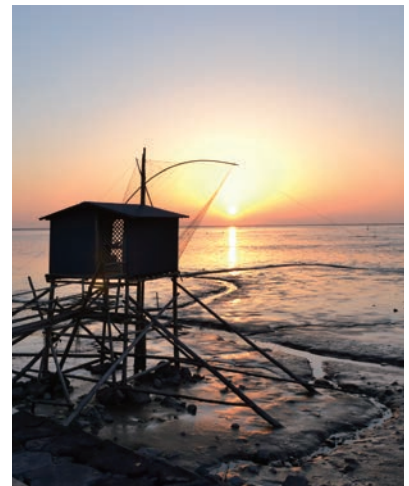
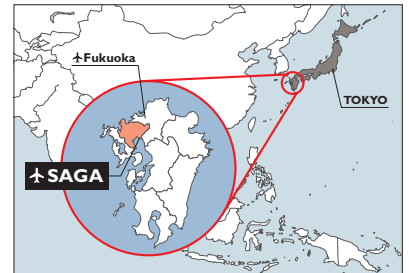
協力：ラムサール条約事務局、国連環境計画アジア太平洋地域事務所、国際自然保護連合アジア地域事務所、経団連自然保護協議会、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議、ユースラムサールジャパン、九州大学持続可能な社会のための決断科学センター

協賛：積水化学工業、損害保険ジャパン日本興亜、メープル・ツアーズ、インテムコンサルティング、東京建設コンサルタント、建設技術研究所、アジア航測、建設環境研究所、オリエンタルコンサルタンツグローバル、三井物産、前田建設工業、いであ、伊藤園、日本工営、ANAホールディングス、住友林業

助成：経団連自然保護基金、国際交流基金アジアセンター

## 分科会テーマ

- セッション1：湿地と防災・減災／気候変動（11月8日）
- セッション2：湿地と政策／変化／国際協力（11月8日）
- セッション3：湿地と自然資源の利用／農業・漁業／食料の確保（11月8日）
- セッション4：都会の湿地／湿地都市／自然インフラ（11月8日）
- セッション5：湿地と若者（11月8日）
- セッション6：湿地と持続可能な観光（11月8日）
- セッション7：湿地と文化（11月8日）
- セッション8：湿地とコミュニケーション・能力養成・教育・参加・普及啓発 (CEPA) ／持続可能な開発のための教育 (ESD)（11月10日）
- セッション9：湿地と生物多様性／再生／再導入（11月10日）



## 参加登録

参加登録はオンラインのフォームを通じて受付中です

早期登録は終了しました

<http://aws2017.org/registration.html>

## 参加費

カテゴリー		早期 (9/14以前)	通常 (9/15以降)
先進国	一般	20,000円	25,000円
	学生	10,000円	12,000円
開発途上国	一般	10,000円	12,000円
	学生	5,000円	6,000円



# The 8<sup>th</sup> Asian Wetland Symposium 7-11 November 2017, Saga, Japan



JAWS

アジア湿地シンポジウム2017  
実行委員会事務局

103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町17-1

城野ビルⅡ2階 日本国際湿地保全連合内

tel: 03-5614-2150

fax: 03-6806-4187

E-mail: [info@aws2017.org](mailto:info@aws2017.org)